

## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

「シーニックバイウェイ北海道全道フォーラム」は、地域に暮らす人々が主体となり、企業や行政と手を繋ぎ、個性的で活力ある地域づくり・景観づくり・魅力ある観光空間づくりを行っているシーニックバイウェイ北海道の活動団体と、多くの方々が出会うことにより、北海道がさらに活性化することを期待し開催しております。

本年度は、12月3日(土)札幌コンベンションセンターにおいて開催し、全道各ルートの活動団体や関係機関、企業、一般市民の方々など、約200名が参加しました。

【日時】 2011年12月3日(土) 13:30~18:30

【会場】 札幌コンベンションセンター(札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1)

【主催】 シーニックバイウェイ北海道推進協議会

【プログラム】

13:30~ 第1部 12ルートからの活動PR

「私たちのルートの今、そして未来につなげる夢」

15:30~ 第2部 意見交換(ポスターセッション)

16:45~ 第3部 講演と情報共有

1. 講演「地域と組織の活性化のためにリーダーが行うべきこと」
2. 日本風景街道の状況について



### 開会挨拶



シーニックバイウェイ北海道  
推進協議会副会長

高松 泰(北海道開発局 局長)

- ・ シーニックバイウェイ北海道は、制度の発足から7年が経過し、現在12のルート、354の団体の方々に活動頂いている。
- ・ これからの私たちの取り組みは、まさしく日本がこれから再生していこうといった取り組みの最先端を走っていると思います。皆様方とこれからもしっかりとシーニックバイウェイ北海道に取り組んでいきたいと考えています。
- ・ 本日は、色々な情報交換、意見交換、これからどのように一層取り組みを深めていくかという場でございますので、実り多きものとなりますよう、ご祈念申し上げます。

## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### 【第1部】新ルート紹介

7月に行われた推進協議会において、「南十勝夢街道」と「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」が、新たなシーニックバイウェイルートとして指定された。



十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

加藤 修治 氏 (ルート代表)

十勝の3ルートと連携をより深くしながら、一人でも多くの方々に来て頂きたい。本ルートの理念である大人たちの夢、そして子供たちの夢を育む地域空間作り・地域観光作りというものを今、盛んにやっている。一生懸命頑張るので、どうかご支援のほどお願いしたい。



札幌シーニックバイウェイ 藻岩山麓・定山溪ルート

船木 利香 氏 (ルート代表代理)

初めての都市型のシーニックバイウェイルートということで、都市空間を活かしきれようようなルート活動をしていきたい。札幌市内で、狸が巣を作ったりエゾリスがやってきたりする、都市と自然が調和する魅力あふれる地域ですので、その魅力を皆さまに知っていただきたいと思っている。

### ベスト・シーニックバイウェイズ・プロジェクト

7月に行われた推進協議会において、ベスト・バイウェイズ・プロジェクトとして、最優秀賞にヒラメ底建網オーナーin遠別(萌える天北オロロンルート)が、優秀賞に「ドライブフリーマップの作成(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)」、ルート審査員特別賞に「ニセコ羊蹄エリアにおける「エキノコックス駆除活動」の広域展開(支笏洞爺ニセコルート)」と「地域の情報発信・PR「情報拠点」(大雪・富良野ルート)」、奨励賞に「シーニックバイウェイスタンプラリーin南区2010(札幌南シーニックバイウェイ)」が選定された。

#### 萌える天北オロロンルート

佐藤 太紀 氏 (ルート副代表)

- ・今回「ヒラメ底建網オーナーin遠別」が受賞したのは大変喜ばしいこと。これが、最も我がルートを象徴する事業でした。
- ・このベストプロは、賞を頂くよりも、むしろ各々のプロジェクトが競い合いながら共有し、認識し合って、また良いプロジェクトを作っていくということが、最終目的と思っているので、これからも基本思想を守って発展的にやっていきたいと思っている。



#### ルート審査委員より



石田 東生 氏

- ・おめでとうございます。定置網をお持ちの漁師さんが、3日間か4日間くらいヒラメは揚げない。それだけ心意気を感じて皆さんに喜んでいただくということで、多分皆さんに、漁師さんにも、町長さんにも実感されて共有の輪がどんどん広がって、プロジェクトがうまく回っていると感じる。そのような点からも、非常に良いプロジェクトだと思う。
- ・これだけインパクトがあり、沢山の人が喜んで、かつ来ていただけるようになったのですから、甘海老や鮭、サフォーク羊、果物、お酒など、それをどう繋いでいくのか。更に色々な人に喜んでいただく、そのようなプロジェクトに是非、成長することを期待したい。

## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### ルート活動PR

12ルートの皆さまより、ルート活動のPRを行っていただきました。

#### 大雪・富良野ルート

きくち はるお  
菊地 晴夫 氏 (大雪・富良野ルートサポートセンター)

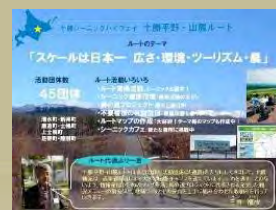


- ・指定ルートとして既に6年が経ち、シーニック活動を通して地域力をさらに高めるため、活動を行っている。
- ・最も連携を密にしている活動はウィンターサーカスであり、冬の景観を楽しみながら、新たな活性化を目的にしており、今回で7回目を数える。NEXCO東日本、星野リゾート・トマム、道の駅など、官民が連携して地域の広がりを持った取り組みに育ちつつある。
- ・(今年は)道の駅との連携を更に深めるべく、地域情報を発信する連携ニュースレターや情報拠点と連携したスタンプラリーなどを開始した。
- ・今後は、活動計画の全面見直しを中心に、新たなルート理念の再構築、今までのルート活動の検証や今後の活動計画を密に行い、次のステージの地域力アップ、シーニックカづくりを目指していきたい。

#### 十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート

はやし まさのぶ  
林 正信 氏 (鹿追町商工会)

- ・大雪山の東側の裾野に広がったルートであり、今年7月には陸別町が加盟した。
- ・ルートのテーマとして、交流人口を増やしたいということがあり、景観分科会、観光分科会、地域づくり分科会と3つの分科会を設けている。その中で、「馬の道プロジェクト」を地域づくり分科会が進めており、清水町から上士幌町までの約130kmに馬の道を設置し、昨年からは馬の案内標識や馬が歩けるような看板作り、設置をしている。
- ・今年、国道敷地の有効活用しながら、3つ目のシーニックカフェを実施。また、観光マップを1月くらいに発行して、夏に向けて地域の宣伝をしていきたい。



#### 釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ

つじや ともゆき  
辻谷 智之 氏 (摩周湖世界遺産登録実行委員会)



- ・5月にシーニックの森(そらの森)の認定を受け、植樹活動を行っており、苗木は、エコバックの販売や助成金で購入している。そのほか、4年目を迎えるシーニックカフェの連携した取り組みや、新たな挑戦としてエゾシカ肉を使ったメニューの開発、障害者や高齢者の方にも旅を楽しんでいただく体制づくりに向けてモニターツアーも行いデータ収集を行っている。
- ・指定ルートになって5年、活動も一段落して、内容や顔ぶれも固定化しつつある。若手もどんどん取り組めるような活動を考えながら進めていきたい。
- ・持続的な活動に向け、「楽しく・仲良く・長く続ける」という思いを持ちながら、活動の事業化を進めること、そして事業化に合わせた活動体制の検討を考えている。

#### どうなん・追分シーニックバイウェイルート(候補)

やまもと こうじ  
山本 幸司 氏 (知内観光協会)

- ・ルートのテーマは、「人と道をつなぐ北の大地の地域力 再生へのメッセージ・チャレンジ」。
- ・今年、地域産業を活かした食や体験を楽しむ観光づくりのための広域連携として、松前町・福島町・知内町・木古内町の4町でモニターツアーを実施。また、各町それぞれの商品開発ということで、木古内町のホタテあぶり丼など、色々と商品開発も行っており、活性化を図っている。
- ・今後は、引き続き連携を図りながら本ルートを盛り上げていきたい。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### 十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道

やまさき かずお  
山崎 和夫氏 (幕別町商工会忠類支部)



- ・ 子供目線での地域の魅力を発信する「学校シーニックバイウェイ」を開始。地域の子供たちに地域の魅力とその保全の大切さに気づいてもらい、将来、ルート魅力を発信できる人になってほしいという想いで行っている。
- ・ ルート内5町村の地域部会では、一斉にそれぞれの小学校に出向き、6年生を対象にアンケートを実施したり、忠類小学校では、地域の地図を広げ、楽しい場所を書き込んでもらった。
- ・ これをもとに来週、「札幌の親子南十勝のクリスマスツアー」と題して、モニターツアーを実施する予定。子供たちからいただいた、それぞれの地域の楽しいところを集約して、四季折々のマップづくりや情報の発信づくりに役立てる。行政と地域団体とで連携した展開に取り組んでいきたい。

### 札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート

ふなき りか  
船木 利香氏 (株式会社Ha-Naプランニング)



- ・ せっかく札幌という大きな舞台を持っているので札幌シーニックバイウェイとし、他の区でも活動を開始することを想定し周辺のシンボルである藻岩山や、定山溪が札幌の水源であることから、「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」と名称を変更。
- ・ ルートのテーマは、「住んでよし、訪れてよしの都市空間」。ルート活動やまちづくり活動の一環として、各団体が緩やかな連携で活動を行ってきた。
- ・ シーニックの活動を通して変わったことは、横の繋がりがとてもよくなったこと。大きな集客施設や国営公園、定山溪温泉など、今まではなかなか繋がる機会がなかったが、シーニックの活動を通じて連携できるようになった。
- ・ 資金源がなくなってしまうと活動を継続するのが難しくなっていく。何か稼げるシステムをつくっていきながら活動をしていきたい。

### 東オホーツクシーニックバイウェイ

たかや ひろし  
高谷 弘志氏 (ルート代表)

- ・ ロマンティックヒーリング、風を感じて走る道。これが私たちのルートのテーマ。
- ・ シーニックマップという、広域エリアの食や景観、温泉などをまとめたマップの作成(～vol.5)や地元が愛護するビューポイント探しツアー、地域の景観を楽しんでもらうシーニックデッキ、アイヌ先住民族のエコツアーなどを実施。
- ・ 「大雪原をひとりじめ」というイベントを実施しており、今年からは、旅行会社の体験プログラム商品として販売。また、冬には行けないからこそ価値がある、行けないことを逆手に取った「神の子池スノーシューツアー」なども実施している。
- ・ 私たちのモットーは、出来ることから少しずつ、汗はかいても命はかけず、やらされるのではなく好きだからやること。



### 支笏洞爺ニセコルート

くぼ じゅんいち  
久保 純一氏 (えにわシーニックプロジェクト)

- ・ ビューポイントパークの維持管理、エキノкокスの駆除活動などの美しい道づくり、シーニックナイトや各地域で行われているバスツアーなど、訪れる方も一緒に楽しむ、交流の場づくりを展開している。
- ・ 今年は、地域でこれまで捨てられていたモノや見向きもされなかったモノに『光』をあて“宝”に変えようとする活動、「タカラモノプロジェクト」を進めている。
- ・ また、活動団体の取り組みや熱い思いを発信していきたいということから、「Facebook」をうまく活用したいと考え、活動団体メンバーを中心に実践している。
- ・ 失敗を恐れず、他では出来ない活動をする事ができるのが私たちの団体の特徴。失敗を笑い飛ばして活動を続けること、そのような人間を地域に育てること、そのような場を提供することが私たちのルートのミッションであり、今後の展望である。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### 十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間

のむら ぶんご  
野村 文吾 氏 (ルート代表)



- ・本年度は道東道が全通をする年だったので、地域の力を結集して情報発信を行い、道央圏から観光客を十勝に呼び込もうと活動をしてきた(想定の2倍の来客)。
- ・札幌で行われた秋の食の祭典「オータムフェスト」では、オール十勝1市18町村で出店し、大通8丁目会場に十勝グルメストリートを作り、情報発信を行った。
- ・課題としては、シーニックバイウェイとしては、まだまだネームバリューが浸透していないと感じている。もっと知ってもらうため、お客様の立場・視点から動いていきたいと考えている。
- ・十勝は、鉄道、これから繋がる道東道、5つの空港が周辺にあり今後、旭川・富良野方面、釧路方面のルートの方と連携をして、シーニックカフェ街道を作り、全国、アジアに発信していきたい。

### 萌える天北オロロンルート

にし たいし  
西 大志 氏 (ルート代表)

- ・新型カマリの「新しい道を行こう(BS朝日)」という番組で、当ルートと宗谷ルートの資源が紹介されている。「道をきっかけに地域に根ざしたところ」ということで、当ルートが選ばれたことは、とても光栄。今までやってきた地道な活動というのは、このようなところで実を結ぶのかと思う。
- ・私たちの生活に密着している「道」を大切にしたい地域づくりにこだわりたいと思っている。3千人の小さな町が点在しているだけだったが、シーニックをきっかけに、全9つの町をつないだ手書きマップが作成できた。
- ・今後は、少し長いスパンとなると思うが「人をつなぐ」という作業に真剣に取り組み、若手みんなでプロジェクトを組んでいきたいと思う。



### 宗谷シーニックバイウェイ

まむら まさし  
木村 正志 氏 (稚内観光協会)



- ・今年度は、環境の保護や美化に向けた取り組み、それから東日本大震災の影響を懸念しての観光振興に取り組んできた。
- ・生物多様性を保護する「礼文リボンプロジェクト」という活動を礼文島で7月から行い、レブンアツモリをモチーフとしたバッチを販売し、益金を保護活動に充てている。
- ・自然エネルギーの推進として、電気自動車をツールとした観光振興についての活動も行っている。今後は、ルート環境保護の活動を積極的に行い、環境に優しく、風光明媚で魅力的な地域づくりにより、人々の心を惹きつけ、更なる活性化につなげていきたい。

### 函館・大沼・噴火湾ルート

おりたに くみこ  
折谷 久美子 氏 (NPO法人スプリングボードユニティ21)

- ・シーニックの活動では、何をするにしても人を大事にしている。ルートのテーマでもある「人と人をつなぐ道」の実現のために、活動を通して人との交流、親睦を深めている。
- ・主な活動としては、4月29日をシーニックの日として実施している沿道の清掃活動、シーニックの森づくり事業、シーニックdeナイトなどを行っている。シーニックdeナイトでは、昨年からは、道南の福島町商工会と連携し活動している。
- ・人と環境を軸とした活動として、函館新道で「はこだて花街道」を行っている。皆、地域の方が笑顔で取り組んでおり、本当に嬉しく思うし、今後も仲良く活動していきたい。
- ・どうなん・追分シーニックバイウェイルートと交流を持ちながら、広域的な連携で今後も精力的に活動を進めていきたいと思う。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### 推進協議会メンバーからのコメント

#### 社団法人 北海道商工会議所連合会

ひらの よしお  
平野 徳夫 氏(観光担当部長)

- ・ 道商連でも、北海道の観光資源を支えているのは地域の人々のおもてなしの心であり、そのホスピタリティを重視していかないと、北海道の未来はないということで、いろいろ諸策やっているの、今回、活動を紹介いただき、非常に感銘したし、これから先もこういうことをしっかりやっていただきたい。
- ・ また、ルート同士の交流も、かなり進んでいるように見受けられるが、やはり、ルート単独ではなく、これからも横の連携を進めていただけたらと思う。



#### 国土交通省 北海道運輸局

いのうえ けんじ  
井上 健二 氏(企画観光部長)

- ・ 人と人を繋ぎ、地域と地域を繋ぐ道。シーニックバイウェイの活動は、その道によって地域の様々な関係者を繋ぎ、素晴らしい地域づくりに結びついている。
- ・ 観光まちづくりの視点からみても、発表のあった各地の資源や取組は、観光資源、観光対象としても大変魅力的である。その魅力を国内外に積極的に発信することは、北海道を元気にすることに大いに役立つと期待しており、今後、シーニックバイウェイと観光とのより一層の連携強化を図っていきたいと思っている。



#### 北海道経済部観光局

かんだ ひろみつ  
神田 広光 氏(参事)

- ・ 北海道にはそれぞれの土地ならではの特徴ある資源があり、それをまた、地域で一生懸命守り育てていることに、本当に感動した。
- ・ 北海道は、夏は観光客が多いが、やはり冬は少ないということもあり、冬の取組もご検討いただければ大変ありがたい。
- ・ 日々の活動の中では課題もあるかと思うが、これから益々発展させていただき、若い方も、どんどん仲間に加えながら、北海道の地域のためにがんばっていただければありがたいと思う。



#### 一般社団法人 日本自動車連盟

ながた のりたか  
永田 典孝 氏(会員課長)

- ・ JAFの会員が全国で1,720万人強おり、どの会員も車を使うということから、観光情報のサービス、ドライブコース等の告知も行っている関係で、シーニックにも参加している。
- ・ 大雪・富良野ルートフォトコンテストについて、全国的にも写真を撮るには非常に良いところで、このコンテストに優勝した方は権威的にも高いものがあると思う。このように権威を高めていくことも活性化する一つの方法ではないか。
- ・ シーニックの活動を通じて横の連携を広げていくことが、全国区に繋がり知名度を上げていく方法ではないかと感じる。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

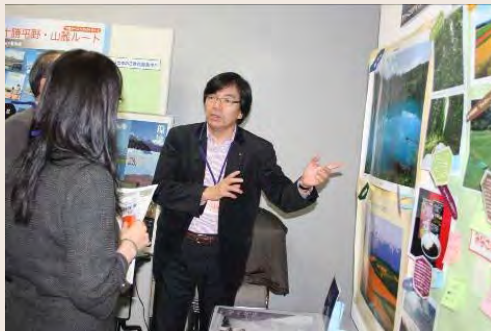
### 【第2部】意見交換(ポスターセッション)

各ルートのブースにて参加者の皆さまと意見交換を行いました。

支笏洞爺ニセコルート



大雪・富良野ルート



東オホーツクシーニックバイウェイ



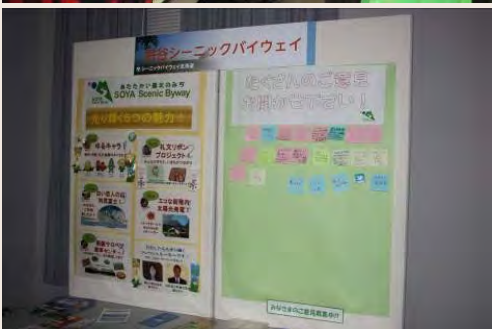
宗谷シーニックバイウェイ



函館・大沼・噴火湾ルート



釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

萌える天北オロロンルート



十勝シーニックバイウェイ 十勝平野・山麓ルート



十勝シーニックバイウェイ トカプチ雄大空間



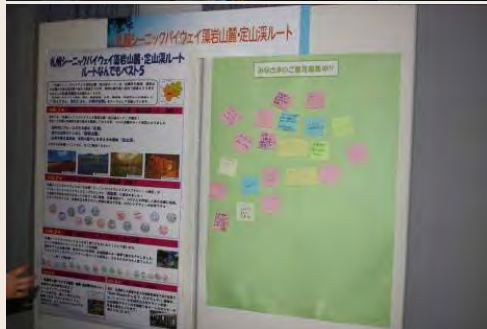
十勝シーニックバイウェイ 南十勝夢街道



札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山渓ルート



どうなん・追分シーニックバイウェイルート





## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### ルート審査委員からのコメント

たかの しんえい  
高野 伸栄 委員



12ルートの発表会でできたキーワードの一つが、「稼ぐ」という話。「稼ぐ」という意味合いを、お金儲けをどんどんしようということではないという風に皆さんは使っているのだと思う。

こういう活動も7年目になり、今までのステップと違う方向を目指した時に、今まで以上に沢山の人がこの活動を知ってもらいたいとか、活動を広げていきたいとなった時にはどうしても資金的な援助が必要になり、人に集まって来てもらい、資金的なもの、必要なものを得ていこうということだと思う。そういう意味では、「お金を儲ける」ということではなく、皆さんあえて「稼ぐ」という言葉を使っているのかなと思う。

「稼ぐ」という意味合いは、「頑張る」という意味合いもあると思う。「稼ぐに追いつく貧乏なし」ということだと思うので、自分の楽しみだけではなく、この活動をもっともっと皆さんに知ってもらいたいという希望の現れとして、「稼ぐ」という言葉が使われているのだと思う。

皆さんまた稼いで頂き、色々な楽しみをこの北海道の大地で展開出来れば良いと思う。

うすい じゅんこ  
臼井 純子 委員

#### ・学校シーニック(南十勝夢街道)について

私たちがだんだん毎年、年をとる。そこで、「若い人」、といっても20代・30代はなかなか入って来られないから、小学生からしっかりと教育をして、将来の我々の跡継ぎとして育てていきたいということが非常に気に入った。

・鹿肉メニューの開発(釧路湿原・阿寒・摩周シーニックバイウェイ)について  
東京のフランス料理の有名店では、鹿肉のローストの方が牛肉のローストより高い。「ジビエ」と言われており、ヨーロッパではこういう料理は非常に有名。そこまでの味に持ち込めると名物になるので、ぜひ新しいメニューを開発して頂きたいと思う。

#### ・オロロンマップ(萌える天北オロロンルート)について

とても希少価値があり、手書きのイラストでこのようなものは、なかなか手に入らない。アメリカなどでは、色々額縁に入れてインテリアにしており、そのような風にも使えるのではないかなと思う。

#### ・スタンプラリーの缶バッジ(札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート)について

17個あるが、集めると大きな缶バッジに引き換えられ、それも17シリーズあるなど・・・永遠に続くリピーターコースを作って欲しい。

#### ・全体について

「稼ぐ」というのは地道に稼がねばならず、「継続は力なり」である。どんなに小さいものでも良いので、しつこくやって、5年、7年経った時に形になるので、是非ともその努力は惜しまずに地道にやって頂きたいと思う。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### 【第3部】講演 ～地域と組織の活性化のためにリーダーが行うべきこと～

参加者同士のコミュニケーションなど「場」づくりの実践を含めた講演が行われました。



ウィルビジョン株式会社  
代表取締役社長 いずみ かずや 泉 一也 氏

【プロフィール】1973年生まれ、京都大学工学部土木工学科卒業。システム開発会社のプログラマーを経て人事部門の管理職に。その後コーチング専門会社に入社。2004年にウィルビジョン株式会社を立ち上げ、代表取締役となる。リーダーシップ、セルフコーチング、組織活性化をテーマにした講演の他、2010年「新しい公共セミナー（静岡県）」で「まちづくり・人づくり」にも関わっている。

思考と感情は9割が無意識（直感）と言われており、我々の行動に大きな影響を与えている。

そこで自らの無意識を開発していくと、エネルギーの源が作れるようになる。人間の自発行動のエネルギーは「気づき」であり、それを生み出すコミュニケーションをしているところは90%の無意識を使っている。このエネルギーはコミュニケーションの中で引き出せる。

成功循環モデルとして活性化している企業、組織、地域は、ほとんどが関係性を大事にしており、関係性が深まるようにいろいろ工夫をしたりということを大切にしている。よく信頼関係と言うが、何でもお互い話し合える、そうすると、みんな思考の質が高まってアイデアができる。これだったらおもしろい、何をやったらおもしろい。気づきがあるので、自発的にやってみようとなり、結果が出る。

関係の質を高める力をつくっていくことにより、人と人との間に共感領域ができる。偶然を必然に変える力を持っている人と持っていない人の違いは何かというと、未来を信じるエネルギーである。

人が集まるのには目標の一致という意味もあるが、もっと大事なものは、全員で同じ方向を指させること。目的を共有するという事で、目的を熱く語り合うことは物すごく大事。

妄想でも何でもいいので、感動していくこと。だから、偶然性も全部感動である。感動のエネルギーが高ければ高いほどCan do（カンドー＝感動）のアイデアとかエネルギーがわいてくる。二人で一緒にバカになりましょう。バカが二人で「バカツォ（場活）」になり、場が活性してくる。志のエネルギーでばかになって、パートナーをつくって関係をつくると活性化していくだろう。



## 「シーニックバイウェイ北海道 全道フォーラム2011」開催概要

### ルート審査委員からのコメント

#### 石山 醇 委員

審査委員を拝命して、もう7年近くやらせて頂いているが、間違いなく深化しており、レベルが上がってきている。皆さん自信を持ったらいいと思う。

このシーニックバイウェイというのは、国が今やろうとしている観光政策、ツーリング政策の一端を担っていると思う。来て頂いて、おもてなしの心を持ってその地域を満足して頂いて、また口コミで来て頂く。こういったサイクルがないことには、本当に実のある地域振興にはならず、ツーリズムという概念が必要であると思う。

(活動報告の中で)「自分達で事業性のあるものを追求していき、自分達で資金をつくっていく」と話があったが、非常に素晴らしい。そういう形で、他の団体の方々も、そういうベクトルが働けば良いと思う。

日本の中で、若者の旅行離れやツーリズム離れがとても問題になっている。大事なことは、小さい子供の時から親と旅行したり、観光したりすることの意味を、身をもって伝えていかななくてはいけない「旅育」。これは、学校シーニックの動きと相通じるので、是非とも、ほかの団体の子供達も巻き込んで、子供の気持ちも尊重しながら運動をしていってほしいと思う。

ツーリズムは世界的な動きになってきているが、ホスピタリティの心を持って沢山のお客さんに来て頂き、満足して頂くことはどこでも行っている。もっともっとグレードアップをして頂くためには、競争意識を持って頂きたいと思う。



#### 石田 東生 委員

(道路空間の占用について)

もっと自由にしようということで、ずいぶん緩和ができそうである。駐車場のなかで景色の良いところでシーニックカフェをやりたいなど、どんどんご提案いただきたい。

(社会資本整備総合交付金)

効果促進事業ができ、ハード事業としてモノの整備をしていたが、その効果がでるようにソフト事業など(シンポジウムの開催や案内板の整備など)も良いということがはじまっている。

(アメリカの動き)

- ・リソースセンターが来年の5月31日で閉鎖されるが、(現地で聞いた何人かの活動団体の一部の方は、その影響を感じさせないほど)自分たちの活動や自立性にも自信があるということである。
- ・各ルートの活動報告を聞いていると、公共交通や自転車への関心が非常に高まっていると感じた。
- ・コロラド州のナショナル・シーニックバイウェイ・ファウンデーションからは、北海道と姉妹シーニックバイウェイをやりたいという話もあった。ぜひ、見に来たいというようなことなので、そういう広がりも出来ていけば良いと思っている。

(全国のシーニックバイウェイ(日本風景街道)について)

- ・全国で124ルートと着実に増加している。また、東日本大震災への支援も幾つかのルートであって下さっており、このような関係性が更に強まっていき、全体がもっと良くなっていけばと思う。
- ・民間で情報交換するなどの「場」を持たないかということで、「NPO法人日本風景街道コミュニティ」というものを考えている。これは、興味のある人、組織が自由に参加をし、入ると良いことがあるというリバウンドスタイルを徹底したいと思っている。正式に発足したら、速やかに参加を募りたい。

